

令和4年度 学力向上に向けた検証改善シート（小学校）

尾道市立浦崎小学校

【全国学力・学習状況調査結果】

	自校	尾道市	広島県	全国
国語	64	67	67	65.6
算数	51	63	64	63.2
理科	62	64	66	63.3

【全国学力・学習状況調査結果（質問紙調査） 『当てはまる』 + 『どちらかといえば、当てはまる』 の%】

質問番号	質問事項	自校	尾道市	広島県	全国
39	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	88.9	73.5	76.2	77.3
43	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	61.1	79.6	81.8	80.1

【課題】

- 【国語】 ○文章のよさを読み取り、条件に合わせて文章を書くこと。
- 【算数】 ○最小公倍数と公約数が混在している。
○概数の学習において、見積もり方や四捨五入すること。
○割合の問題。
○式の意味理解ができていない。
- 【理科】 ○問題の意味理解ができていない。
○表やグラフの読み取りができていない。
○相手にかりやすく説明する力。
- 【質問紙】 ○自ら考える手立てが不足している。
○課題設定の際、教師主導であることが多い。



【めざす姿】

- 【国語】 ○結論先行で意見を書いたり、条件が付いた意見文を書いたりすることができる。
- 【算数】 ○正しい算数用語を理解し、活用できる。
○既習事項と関連付けられる。
- 【理科】 ○問題で問われている意味を理解して、問題を解く。
○適切な表やグラフを用いてまとめる。
○要点を落とさず、説明できる。
- 【質問紙】 ○課題を自ら考え、課題設定をさせる機会を多くする。
○なぜ、～するとどうなるのかという疑問を大切にすること。

【これまでの授業の課題】

- 【国語】 ○文章を書く時間の確保すること。
- 【算数】 ○算数用語を使っていないこと。
○その単元だけの学びで、関連付けができていない。
○各学年で付けるべき学習の積み上げが、次年度に活かされていない。
- 【理科】 ○実験や予想や考察を考える際、一部の児童だけの発言に偏ることが多いので、内容の充実の度合いに差がある。
○結果をまとめる際、決まった形の表などにまとめることが多く、どの方法でまとめるのがふさわしいのか考える機会が少ない。
- 【質問紙】 ○話し合う活動がなかなか行えていない。
○考えが持てていない場合の話し合い、他の考えを自分の考えに活かす場の設定ができていない。



【今後の授業の具体】

- 【国語】 ○文章を書かせる際、条件を付けて各活動を取り入れる。
- 【算数】 ○説明する時、算数用語を活用して使う。
○既習事項と関連付けられる掲示物や声掛け、プレートの活用を行う。
○教師が算数の系統表を持ち、学年間の単元のつながりを意識して授業をする。
○複合問題を取り入れ、発展問題に取り組む。
- 【理科】 ○表やグラフ、絵や図の効果的な使い方を示し、結果をまとめる際に、実験の内容にあったまとめ方を考えさせる。
○クラス全員が自分の考えを分かりやすく説明し、交流できるような場を設定する。
- 【質問紙】 ○ペアトークを中心に、感染予防を徹底しながらも、お互いの考えを交流する場面を意図的に設定する。
○考えが持てていない児童へも援助として、ペアトークの場合、どのようなペアにするのか考慮する。